

地方における 学校体育施設の将来像と スポネット弘前の取り組み

NPO法人スポネット弘前
理事長 鹿内 葵

事例

・鹿内 緑子 (小学4年生)

東京オリンピックのバレーボールを観戦して、自分もバレーボールをやってみたいと思う。

しかし、学校は全生徒で80名、男子は野球部、女子は部活もスポ少の活動もありません。

市の中心部にはバレーボールのスポーツ少年団がありますが、放課後、送迎もできず、土日とも両親とも仕事ため、練習や試合に立ち会えないことから、参加することができません。現在、放課後も土日ともほとんどを家でゲームをして過ごしている。

青森県の現状 (弘前市)

平均寿命

塩分摂取量

カップラーメン摂取量

喫煙率

アルコール摂取量

スポーツ活動率

1日の歩行数

BMI数値

共働き率

個人所得

平成23年
2, 557名

令和元年
1, 212名

弘前市
スポーツ少年団
団員数

	弘前市
人口推移	弘前市 2020年17万人 ⇒2040年13万人 青森県 2020年123万人 ⇒2040年 90万人
児童数の推移	2005年10,263 ⇒2015年7,611人 ⇒2021年6,750人 推計
スポーツ少年団の数	団体数 2011年85団体 ⇒2019年64団体 団員数 2011年2557人 ⇒2019年1212名

スポーツ少年団の様々な問題

- 燃え尽きる子どもたち、厳しすぎる体質
- 学校単位だと人数が足りなく、チームが組めない
- 合同チームになると移動手段がない
- やりたい種目ができない
- 1年生～6年生まで同じ練習
- 保護者の負担が増える(立ち合い、移動、金銭的)
- コーチがみつからない

NPO法人スポネット弘前 の取り組み

2004年設立 会員数 600人 職員16名

事業内容

- 学校体育支援事業の展開
- 小規模校スポーツ活動支援事業
- 介護保険における地域支援事業として
「高齢者トレーニング教室の受託」
- 地域の交流の場「ヒロロスクエア」指定管理
- 障害者スポーツの普及
- 居場所づくりの事業の展開(各種サークル活動)

スポネット弘前のミッション

「スポーツで創る元気なまち」を合言葉に「いつでも、どこでも、だれでも」参加できるスポーツ環境を通じ、地域コミュニティの構築を図る。

スポネット弘前のビジョン

1. 子どもの体力づくり、居場所づくりとして、キッズスポーツ事業の実施
2. 地域のニーズに添ったスポーツプログラムの提供
3. 超高齢社会を見据えた中高齢者の健康・体力づくり教室や介護予防教室などのプロダクトの提供
4. 地域住民やクラブ会員の交流の促進の場の提供
5. 中学校区内を範囲としたスポーツ活動の基盤活動拠点づくり
6. 弘前市内スポーツ団体が安定的、継続的に運営していけるためのネットワーク化と情報の発信を目的とした事業

1週間のプログラム一覧

月	ダムダムバスケットボール教室 キッズバレーボール教室
火	走り方教室 はじめての登山教室 講習会
水	ラララ♪ラケットテニス ゆったりヨガ ランニングクラブ フルマラソンチャレンジ教室
木	ゆったりーヨガ教室 チビッコバスケットボール教室
金	チビッコバスケットボール教室
土	キッズスポーツひろばwith キッズチアダンス(低学年) ユニバサールスポーツクラブ チビッコバスケットボール教室 キッズソフトボールクラブ みんなバレ・中高生のためのバレーボール・ナイターバレース
日	個人参加型エンジョイフットサル バトミントンsmile エンジョイ卓球&ラケットテニス

現在 21部門

26のプログラムを実施している。

チビッコバスケットボール教室

毎週木金土曜日19時～21時
東小学校体育館、大和沢 他
会費 月3000円



キッズバレーボール教室



毎週月曜日19時～21時

弘前市立第四中学校体育館

会費 月3000円



ソフトボール教室



毎週土曜日9時～12時

朝陽小学校グランド

会費 月3,000円



ランニングクラブ、キッズチアダンス



ユニバーサルスポーツクラブ



- ・機会がなかったから、定期的にあるのが嬉しい
- ・青森に行けないので、弘前でやってくれて嬉しい
- ・運動する場がない。運動する場が毎週あれば良い

参加者の声

第6回弘前城リレーマラソン

気軽にスポーツを始めれるきっかけを作る



第4回弘前城リレーマラソン冬の陣

冬場の運動不足解消のため
冬場の弘前公園の利活用として



南富田町体育センター 指定管理者として受託

新たなスポーツ環境の提案と職員の確保



《南富田町体育センター自主事業》 指定管理団体：NPO法人スポネット弘前

朝活タイム

期 間：令和元年8月24日（土）～10月27日（日）
日 時：毎週土・日曜日のAM7:00～AM9:00
料 金：1時間100円（子ども・おとな同額）
可能種目：卓球、バドミントン、バスケ他 ※混雑時は要相談
※期間中での電話・窓口予約OK。基本的には1組1種目最大2時間まで。

《早起き・朝スポーツの効能》

- ・頭も体もスッキリと目覚める
- ・心と体がリラックス
- ・細胞が活性化
- ・自律神経が刺激され頭スッキリ
- ・脳活性化
- ・身体と心のリズムが整う

お問い合わせ・ご予約：弘前市南富田体育センター
0172-34-6122（9:00～21:00）



新たなコンテンツの提案と職員の確保



この夏、
最高の仲間と
最高の瞬間を一。

SHOWCASE/CREWBATTLE/SOLOCONTEST

DANCE

ダンス 交流文化祭

〒ヒロロ4F 市民文化交流館ホール

2016.08.05 FRI
12:30-19:00 ヒロロ

主催：ヒロロスピア舞踊・楽団委員会、ひろろき芸術振興実行委員会
チケット取扱い所：ヒロロ市舞踊・楽団委員会（〒舞踊文化会館2階付和室）RUNKY STAGEJM
お問い合わせ：ヒロロスピア舞踊・楽団委員会事務局 0172-35-0154（午後8時～午後9時）
チケット及びエントリー取扱いについては、ひろろき芸術振興実行委員会 0172-688-6499





主催：ヒロロスクエア振興い創出委員会／弘前市駅前ことばの広場（子育て支援課）
弘前市生活文化推進員会／NPO法人ECOリブリック白神／青森ごころの会

ママフェスタ 2016・夏

アクセサリなどの製作体験やハンドメイド品の販売に
ゲームコーナー、ステージイベントと楽しさ盛りだくさん♪

日時 **7月16日(土) 10:00～14:00**

場所 **ヒロロ3階 ヒロロスクエア**

出店ブース	ステージイベント（参加無料）
☆マサミット ☆びよんぽんず ☆まきろ工房 ☆ruban de mamans ☆仏前ガローラ・アクション ☆デソーロ ☆sun3	10:00 NPO法人ECOリブリック白神 絵手紙づくりワークショップ ※当日は絵手紙教室の先生が指導します。 11:00 弘前市観光協会主催 お笑いライブ「ぶちかみ」をつつみよう！」 ※出演者：お笑いグループ「ぶちかみ」 12:15 弘前市観光協会主催 おうちで作る「夏の彩りそうめん」試食 ※お持ち帰り可能。お土産としても好評です。 13:00 キッズアタランシ！ジャングルボトムス （横浜のKIDZONにて開催） 13:30 弘前市観光協会主催、弘前市立第一中学校 「青夜 Performance Team 舞踏」ステージ

親子でチャレンジ!

参加者
大募集

絵手紙ワークショップ

時 間 10:00～12:00（受付開始45分）
場 所 ヒロロ3階 イベントスペース
対 象 小学生以上、中学生以下（大人も参加可）
料 金 絵手紙制作費 100円、材料費 500円以内
※事前申し込みが必要ですが、当日参加も可能です。
※抽選制です。詳細はチラシをご覧ください。

わごころ講座～夏のゆたかな遊び～

時 間 11:00～12:00（受付45分～）
場 所 ヒロロ3階 イベントホール2階
対 象 小学生以上、中学生以下
持 物 わごころ、小物一式
料 金 参加費 500円、材料費 500円以内
※事前申し込みが必要ですが、当日参加も可能です。
※抽選制です。詳細はチラシをご覧ください。

お問合せ：ヒロロスクエア振興い創出委員会事務局（弘前市歴史文化交流館）
TEL0172-35-0154 [時間 8:30～21:00]

第5回

食育 フェスティバル

in ヒロロスクエア

～ 元気 いきいき ふるさとの食べもので健康! ～

だし

郷土料理

りんごの品種

おとなも子どもも!

- 見て
- 食べて
- 遊んで

家族や友達と一緒に「食育」にふれてみませんか?

食育とは

「食」に関する様々な知識を「育む」ことです。

日時: 6月19日(日)
10時～13時30分

会場: ヒロロ3階
(駅前町9-20)

参加無料だよ!
みんな来てね～

おいし〜い試食会や、たのしいウイコーナーがあるよ。
詳しいイベント内容は裏面を読んでね～

西森南学校校史士協議会
食育推進キャラクター
「あぶにん」

主催：ヒロロスクエア内各施設利用委員会 弘前市食文化振興推進委員会 弘前市環境子どもの食育（子育て支援課）
NPO法人食の時間経済研究会 いがひの会 金づり会 松本マート・ハンサムカーン NPO法人スズネット・まほろば
協力：東北女子大学附属大 弘前市（金づり市協賛）、子育て支援、農産物直売所、りんご園
弘前市消費委員会（平等市場、高瀬、宮田中央食センター）

企画問合せ：ヒロロスクエア内各施設利用委員会事務局（弘前市文化支店館内） 電話：35-0184（8:30～21:00）

高齢者トレーニング教室

介護保険の自立支援事業の一環として、保険事業として市の委託を受けて実施している。



平成30年度～
弘前市スポーツ環境
整備支援事業

弘前市委託事業

対象地域の小学校の状況(R2)

学校名	児童数	部活動・スポ少
裾野小	73名	野球
自得小	80名	野球・ソフト
三和小	49名	
船沢小	95名	
高杉小	143名	
小友小	46名	
新和小	59名	
三省小	38名	ミニバス



地域スポーツ環境整備支援事業

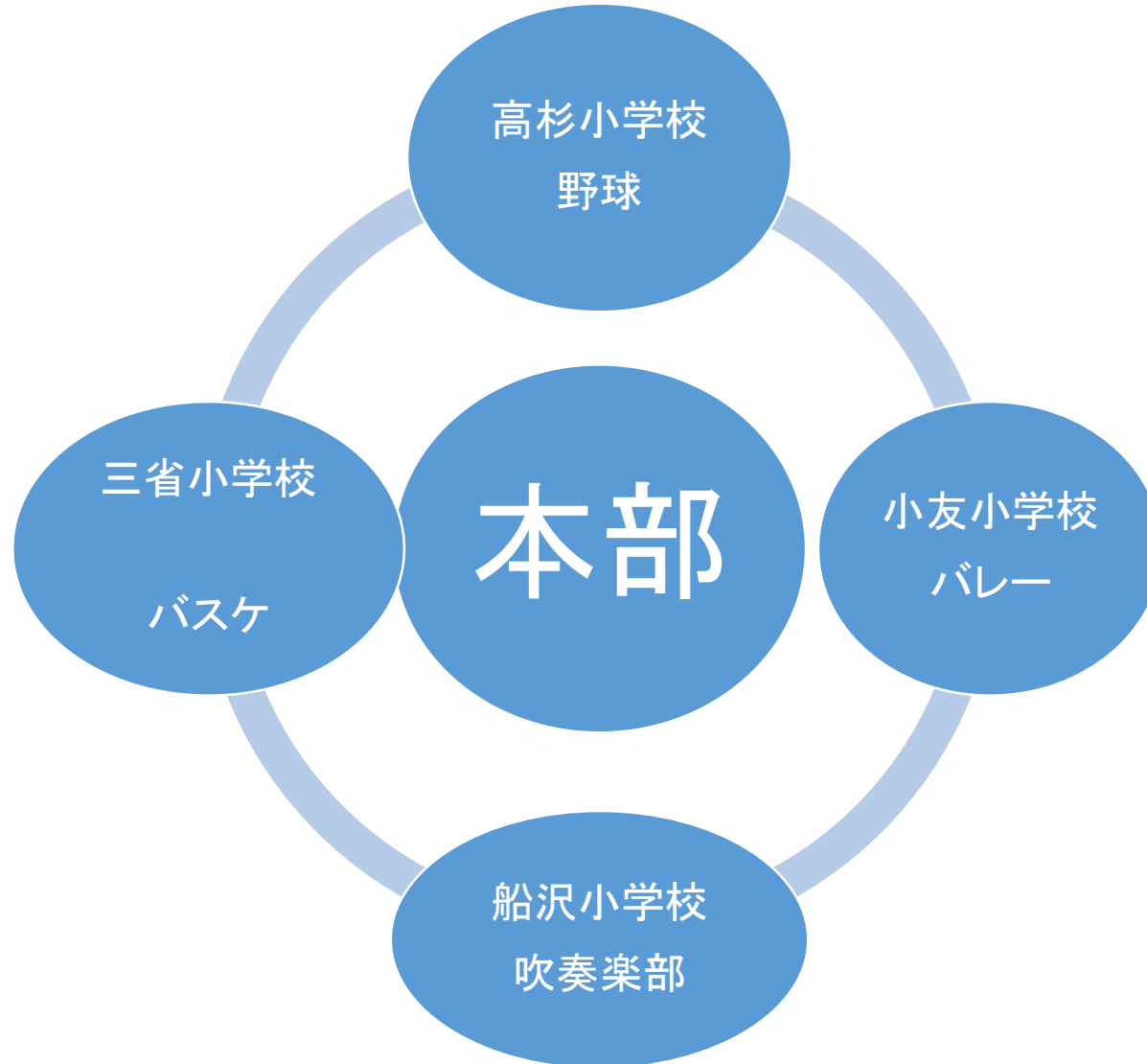


令和2年度の取り組み

- 週1回 6会場で実施 3か月で会場を移動
- より専門的な内容
- バスケットボール、バレーボール、ダンス、サッカーを実施
- 1%助成事業を活用し、学校体育支援事業も実施、連動している



将来像(イメージ)



このエリアで約600名の児童がいる。

学校の枠を超えて、やりたいスポーツを選択できる体制をつくっていく。

事務局は1か所で効率的になる。

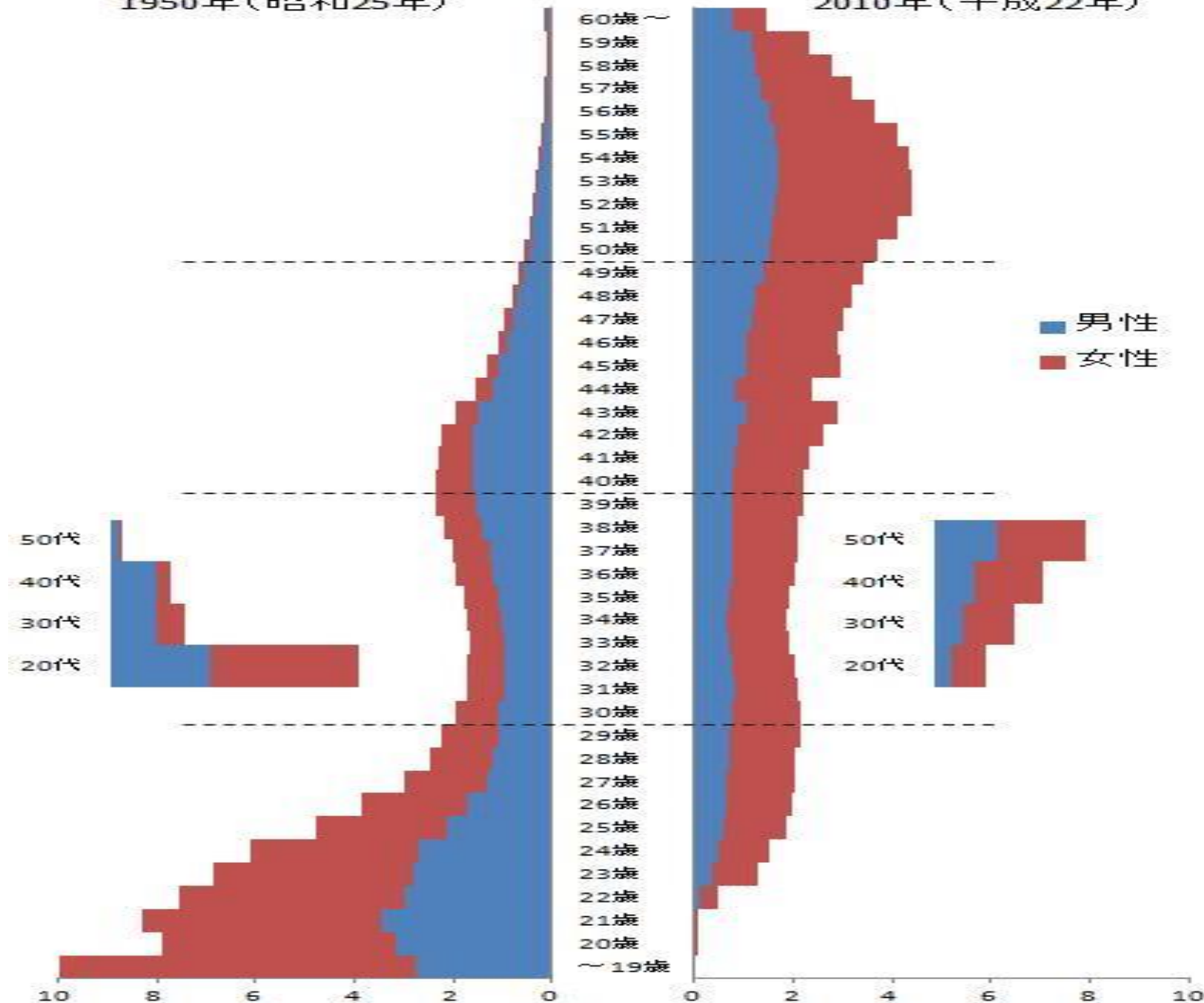
そのためには送迎の確保が必要不可欠。

学校体育
支援事業

公立小学校教員の年齢構成の変化(%)

1950年(昭和25年)

2010年(平成22年)



青森・弘前の教育現場の現状」

教員の高齢化と女性割合の増加

「部活動・スポーツ少年団を指導できる先生がいない・・・」

「体育の授業で児童に手本を見せてあげられない・・・」

「各種目を専門的に教えることができない・・・」

・スキーの授業の苦勞

「昔のようにスキーをやっている子が少ない・・・」

「靴をはくところから教えなければならないなど・・・」

・現場の様子をみると

「簡単にいうと楽しくないと思う子も多い・・・」→運動が苦手という意識が

「できる・できないかが評価になっている・・・」→運動が苦手という意識が

大成小学校 跳び箱、 マット運動

ICTと連携



大成小学校

縄跳び ダブルダッチ



大成小学校

コーディ ネーション



大成小学校

サッカー バレーボール









指導案

第三大成小学校 4 年 跳び箱運動

組 番 名前

○今日の授業を終えて (◎○△×)

1. 楽しくできた。	
2. 友達と協力できた。	
3. 跳び箱が好きになった。	

○今日の授業で思ったことや考えたことを書きましょう。

第 4 学年 体育科学習指導案

日 時 平成 28 年 12 月 2 日 (金)

第 3 校時 (10:30~11:15)

場 所 第三大成小学校 体育館

対 象 4 年児童 54 名

原簿指導者 田中 宏輝

1 単元名 器械運動 「ア マット運動 ウ 跳び箱運動」

2 本時の学習 (2/5)

(1) わらい

・体の支え方を覚え、感覚を仲間と共有する。(思考・判断)

(2) 展開

	学習活動・内容	教師の手立て(○) 評価規準(◇)
導入 9 分	1 場の設定及び準備運動をする。 (1)前時の復習(1 分) ・着地の姿勢、踏み切り板の跳ね方 (2)準備運動 (5 分) ・ストレッチング ・体づくり運動(手裏剣体操、カエルの足うち) (3)場の設定をする。(4) ・踏み切り板、跳び箱 5 段、マット 2 枚ずつ	○補助運動を行い、今日の学習に入る準備をする。
展開 30 分	2 今日の学習課題を把握する。正しい手の置き方で跳び箱に立ってみよう。 3 踏み切り板の正しい蹴り方を学ぶ。(10 分) (1)踏み切り板の蹴り方を考える。 ・掃り道⇒台トンバ (縦) (2)助走をつけて踏み切り板ジャンプ。 ・掃り道⇒台トンバ (横) 4 跳び箱に足の裏で立つ。(20 分) (1)場の設定を変える。 ・資料 3 参照 (2)やり方説明・挑戦 ・手の位置、にゃんこ	○踏み切り板は一度だけ、足を揃えて蹴ることに注意する。 ○班のリーダーに指示を出してもらう。 ◇ポイントを確認し、仲間とイメージを共有する。(思考・判断)
終末 6 分	4 片付けをして学習を振り返る。 (1)片付け・整理運動 (4 分) (2)グループ活動 (2 分) 5 次回の連絡・終わりの挨拶をする。	・これから頑張ることややってみたいことをグループ内で話し合い、発表させる。

わらい。××が楽しかった!... などなど

組 番 名前

書きましょう。

わらい。××が楽しかった!... などなど

資料 2

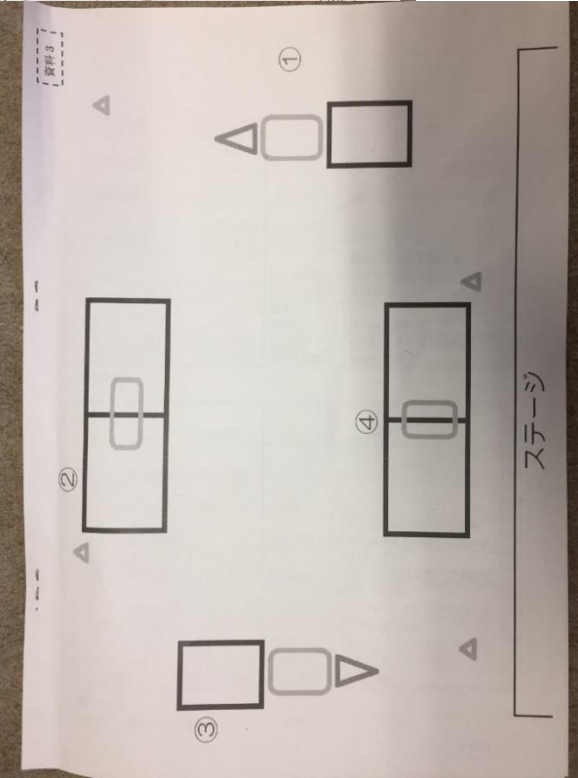
二つの技は、運動特性が異なるため、分けて指導を行う。

《開脚跳び》

跳び箱運動	求める技能	マット運動	求める技能	次
① よじ登り (横)	正しい着地	クマさん	手のひらをしっかりと着く	1/5
② 1.2.3 ジャンプ～よじ登り	正しいグージャンプ	ウサギ	「手～足、手～足」のリズムで手に足を近づける。	1/5
③ 走って～踏み切り板ジャンプ	蹴り方と目線	トンバ	リズムよく、手に足を近づけられる。(切り返し)	1/5 2/5
④ 走って～踏み切り板ジャンプ 2	力強い踏み切りと制御	台トンバ	台にしっかりと手を置いて身体を支えられる。	2/5
⑤ 走って～踏み切り板ジャンプ 2	//	グートンバ	踏み切りをイメージしたグージャンプから低い跳び箱を越す。	2/5
⑥ 1.2.3 ジャンプ～跳び乗り	足裏で立つ (切り返し)	トンバ		2/5
⑦ 走って～飛び乗り	速くへ着手			2/5
⑧ グー、トン バ!	開脚跳び			

《台上前転》

跳び箱運動	求める技能
① よじ登り (横)	正しい着地
②	
③	
④	
⑤ 2 段で前転	お尻を上げ、まっすぐ回る
⑥ 3 段で前転	//
⑦ 4 段で前転	//
⑧ 5 段で前転	//



打ち合わせ風景



- 学校開放の利活用
(スポーツスペース
ボードレスプロジェクト)
- 廃校の利活用
- 公共施設の今後

[illegible]

活動場所でお困りのスポーツ少年団・
サークルクラブの皆さん必見!!

ひろか

しゅうせい

弘果修斉 スポーツパーク GRAND-OPEN!



卓球

バドミントン

ミニバスケット

テニス

バレー

平成28年度に閉校した旧修斉小学校が令和2年スポーツパークになって復活!!
おもいっきりスポーツを楽しみませんか?!

TEL申込みにてOK!! 面倒な手続きなし!

開放時間区分

- ① 9:00~12:00 ② 12:00~15:00
③ 15:00~18:00 ④ 18:00~21:00

ご利用料金

体育館全面使用 3時間3,300円(税込み)
※令和3年3月31日まで照明代サービス!

休館日

毎週月曜日

対応種目

テニス・バドミントン・バレーボール・
卓球・ソフトボール・フットサル・ミニ
バスケットボール他、室内レクリエー
ションなどでもご利用できます。

冬期間限定【スキー山無料開放】

グラウンドでスキー山もご利用できます。
詳しくは下記連絡先までお問合せください。

お問合せ

弘果修斉スポーツパーク

管理
運営



弘果修斉スポーツクラブ

NPO

法人

スポネット弘前



住所 〒036-1202 弘前市十面沢字赤坂1-1 (旧修斉小学校)

電話 0172-88-7370(平日9:00~16:00) FAX 0172-88-7371

※不在の場合はスポネット弘前本部までご連絡ください。電話0172-32-6523

E-mail: info@sponet-h.com HP: <https://syusei.sponet-h.com/>



バレー









利用団体から聞き取りした際の課題

- 利用基準があいまいで、学校開放担当の先生が変わるたびに対応が変わる
- いちど確保すると、年間でその曜日で使えるようになるが、実際毎週使っていない団体もあるので、実際には利用されていない状況も多々ある
- 利用団体が固定化され、気軽に使えない
- 開放実施校や利用方法などの周知が十分ではない
- 各学校に配分されている予算内で暖房代を負担しているが、予算が十分ではなく冬に暖房を使用できない団体も多い

学校関係者からの聞き取りした際の課題

- 利用団体が多い学校では、学校側の事務的な負担が多く大変
- 日曜日の学校開放の不便さ(15時から機械警備となり、基本的には利用できない)
- 中心部以外の利用率が低く、ほとんど使われていない学校もある
- 利用団体のマナー(体育館の使い方、ごみ・騒音等)
- そもそも入り口が分離されていないので、貸し出しできない

これまでの取り組み

- (1) スポーツ庁『スポーツスペース・ボーダレスプロジェクト』（学校体育施設の有効活用推進事業）」の受託
- (2) 実行委員会の開催：3回開催
- (3) オンラインによる先進地視察：かほく市宇ノ気体育館(報告書参照)
- (4) 提言書づくり

今後の弘前市として学校開放事業のあり方

- ・統一したルール策定
- ・一般の利用者と児童生徒の動線の分離の推進
- ・学校開放の管理業務における民間委託
- ・光熱水道費程度の受益者負担の提言
- ・広報やホームページを活用して学校開放事業の周知
- ・利用率の低い地域での、ソフト事業の展開や、個人使用できる仕組みもつくり
- ・柔軟な利用方法の整備(空きが出た場合の連絡周知体制など)
- ・今後の新改築時には、他の公共施設との複合化、バリアフリー化、ユニバーサルデザインへの配慮など、人口減少や地域課題にも対応した、多機能・多様性のある施設への転換

スポネット弘前の目指すもの

学校開放の管理とソフト事業の展開

+

学校体育支援

+

放課後スポーツ活動支援

学校と総合型クラブが連携し、学校を地域コミュニティの核として地域の交流の場をつくっていく
小規模多機能自治を目指していく

最後に(これからの取り組み・提言)

- 近隣の公共施設と学校開放事業が連動した仕組みづくり
- 管理団体による、学校支援、地域と連携したソフト事業の展開
- 老朽化した体育施設の改築、新築の際の、複合化、多機能化、民間施設との複合化に対する提言
- 廃校の利活用の提言